

みさと 市議会だより



議会は市の
決定機関
No.164
2016年1月15日号
年4回発行
発行 埼玉県三郷市議会



子ども達の未来を全力で応援します



主な内容 平成27年12月定例会

- 論点「幸房小学校増築工事について審議」・・・2
- 新年のごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 市政に対する一般質問・・・・・・・・・・・・・・4
- 提出議案とその結果、「市民の声」議会へ・・・10
- 議案トビックス、議会あれこれ・・・・・・・・・・11
- 読者の声 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

木の温かみある校舎を

論点

12月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案が、どのように審議されたか、その要旨をお知らせします。

幸房小学校の増築工事が

始まります



12月定例会

12/1~14

木質化した大規模改修後の廊下
(幸房小学校既存校舎)

12月定例会には市長から「工事請負契約の締結」などの議案が提出され、原案どおり可決しました。



外観イメージ図

議案第74号 工事請負契約の締結について

【内容】三郷市立幸房小学校の学区内の児童数増加に伴い、校舎の増築工事を行うため、請負契約を締結するものです。
▽本会議や委員会では次のような質疑がありました。

問 幸房小学校児童数の増加推計は。

答 幸房・新和小学校の学区変更や三郷中央地区の開発により、平成29年度には約470名18学級、ピークは平成37年度で、約1100名32学級と予測している。

問 増築工事で対応可能か。

答 増築校舎の普通教室は12教室ある。2教室分ある多目的室を3か所設けているが、それを普通教室に転用でき、最大で18教室確保できる。既存校舎の17教室と合わせ最大35教室となり、今後の児童増加に対応可能である。

問 工事スケジュールと増築費用の詳細は。

答 平成27年度から28年度の

幸房小学校位置図



幸房小学校の子どもたち

三郷創生を全力で推進



三郷市議会 議長
市川 文雄

新年、明けましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、すがすがしい新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年から地方創生の取り組みが始まりました。国は、「一億総活躍社会」を掲げ、経済の安定、子育て支援、介護離職問題等の社会保障対策など喫緊の課題に対し取り組む方針を示しました。

本市におきましても「選ばれるまち」「住み続けたいまち」として、本市の魅力を高めていくため、「地域創生」として市民と行政が一体となり50年後のまちを見据えた施策づくりが重要であると感じております。

現在策定中の総合計画後期基本計画、三郷市版人口ビジョン・総合戦略は、誰もが三郷市に住んで良かったと思える、先見の明を持った計画でなければなりません。私たち市議会といたしましても、魅力ある三郷のまちづくりに、全力かつ真剣に取り組んでまいり所存でございます。

結びに、市民の皆様のご多幸とご健勝を祈念し、市議会を代表して新年のご挨拶とさせていただきます。

広い図書室



新しい図書室イメージ図

【幸房小学校増築校舎の特色は？】

- 日本一の読書のまちの中心的な役割を担えるよう、図書室は市内の小中学校で一番広い約4教室分の面積を確保。
- 内装を木質化し、幅6mある廊下は開放感あるスペースとなり、教室と廊下の間仕切りを可動式にすることで、一体的な使用が可能。

2か年にまたがり、平成29年2月の竣工を予定している。この議案の建築部分である9億1044万円のほかに、電気設備が1億454万円、機械設備が1億44万円、工事監理費については1890万円で契約しており、すべて合わせると約11億3432万円となっている。

問 デザイン等の検討方法は。

答 検討委員会を立ち上げ、たたき台のイメージ図と合わ

【工事概要】

工事名	三郷市立幸房小学校増築工事（建築）
構造	鉄筋コンクリート造4階建て
建築面積	775.31㎡／（既存校舎 907.18㎡）
履行期限	平成29年2月25日
請負金額	9億1,044万円
請負者	不動産発株式会社 三郷営業所 営業所長 小野 弘

最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告し、採決の結果、議案第74号は全議員賛成で可決しました。

さて学校など、関係団体と協議している。

問 今後、さらに予定される大きな工事は。

答 増築校舎の北側にプールの設置、さらに外構工事を平成28年度に行う予定である。

市政に対する

一般質問

— 質問議員 —

篠田 正巳	酒巻 宗一	佐藤 陸郎	佐藤 裕之
鳴海 和美	村上香代子	逢澤圭一郎	佐々木 修
菊名 裕	加藤 英泉	稲葉 春男	工藤智加子
和田 司	野村 徹	森 忠行	

市民の要望を市政に反映させるための一般質問は、各種の行政課題を取り上げて、4日間にわたり15人の議員が活発な論戦を展開しました。※記事掲載は順不同。内容は一部抜粋しています。



高齢者のバス利用におけるワンコイン・システム導入を

議員

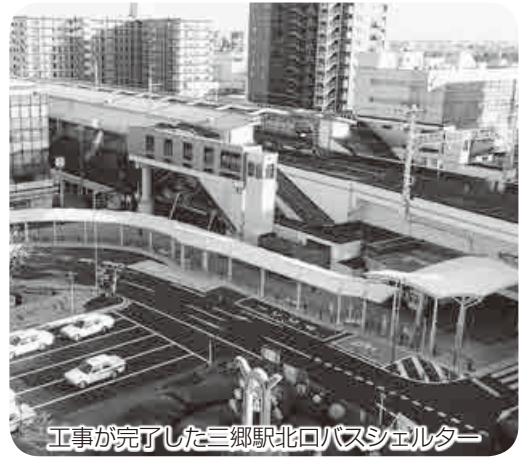
高齢者の外出機会を促進するために、市内バス料金を割引するシステムについて伺う。利用者の少ない午前10時から午後4時までの時間帯に限り、市が発行する写真入り認定カードを提示することで、1路線100円均一で乗車できる「高齢者対象のワンコイン・システム」を導入することについて考えは。

福祉部長

路線バス料金の負担軽減により、高齢者の利用を促進し社会参加を促すことは、高齢者が豊かで充実した生活を送るためにも望ましいことと考える。バス利用料金の割引システムは、高齢者の外出支援策のひとつとして、関係課と協議していく。

環境安全部長

バス利用料金の割引システムの導入については、高齢者のバス利用の増加につながり、市内バス交通の維持に資する可能性もあると考える。高齢者を含めたすべての市民にとって乗りやすい、利用しやすいバス交通となるよう、様々な利用促進策につ



いて、関係課と連携を図り、引き続きバス事業者との協議を進めていく。
その他の質問 保育行政など。

「三郷」発足60周年の記念事業の実施を

議員

昭和31年9月30日に東和村・彦成村・早稲田村の3村合併で三郷村が誕生して以来、平成28年で60周年の節目を迎える。合併で「三郷」の名称が生まれ、現在の市域はおおむねこのときから続いている。60年間で約8倍の人口増は、ほかに例のない増加率を示しており、現在も増加傾向にある。市民に村・町の時代を含めた

三郷の歴史を知ってもらえば、三郷への愛着と誇りが深まることにつながる。そこで、60周年の記念事業を行い、内外に三郷をPRするとともに節目を祝賀することについて伺う。

市長 広報みさと「シリーズ三郷学」の特集、三郷学検定の本格実施や郷土資料館での歴史資料の展示、毎年開催しているイベントや事業などに「三郷命名60周年」の冠を付すなど、各担当部に指示していく。また平成29年には市制施行45周年を迎えることになり、節目の年となるので記念行事を含め検討していく。

その他の質問

広報問題。



産後ケアの拡充と 「三郷版ネウボラ」の 導入を

議員

「ネウボラ」とは、フィンランド語でアドバイスをする場所という意味の言葉である。フィンランドではネウボラという施設で妊娠期から6歳まで切れ目のない総合的な子育て支援サービスを行っており、日本でも注目されている。そこで、①安心して子育てができるまちづくりを目指し、産後ケアの一環として母親のデイケアやショートステイを実施し、産後うつなどを未然に防止する取り組みについて伺う。②三郷版ネウボラ「子育て世代包括支援センター」の導入について伺う。

市民生活部長

①産後ケアについては重要性が増すものと認識して



産後ケアと子育て支援の充実を

いる。現在実施している産前産後に関する各事業の実効性や連携性を分析し、デイケアやショートステイについて、先進事例の情報収集を行いながら研究していく。

副長

②切れ目のない子育て支援を実施していくうえでワンストップ拠点の導入の必要性は認識している。子育て世代包括支援センターについては、今後先進地の事例等を調査していく。

その他の質問

福祉問題。

介護予防・日常生活支援 総合事業の準備状況は

議員

介護保険制度改正に伴い、市町村事業として総合事業が位置づけられた。この事業は多岐にわたり高齢者を支える制度設計を市の裁量で行うことから、地域資源の発掘や育成も含めて速やかに取り組むべきと考える。平成29年4

月からの実施にむけて準備状況を伺う。①現状分析と上限額・事業量。②介護予防・生活支援・任意事業の新サービス創設。③ケアプラン作成に係る研修。④事務量増に伴う組織の整備、条例の制定は。⑤生活支援コーディネーター

と協議体について。

福祉部長

①75歳以上の被保険者数の伸び率などにより算出した上限額をふまえ、来年度実施する調査の結果を参考に事業量を算定する。②緩和した基準によるサービスや、住民主体によるサービスなど、利用者の状況に合ったサービスを選択できる体制を構築していく。③スキル向上のための研修をはじめ、情報の共有化に努めていく。④組織については円滑にスタートが切れる体制にしたい。条例は先進地を参考に検討していく。⑤社会福祉協議会やシルバー人材センターなどによる協議体をつくり、生活支援コーディネーターは協議体のメンバーからの選出も考えている。

その他の質問

人事政策。

関戸通り・久兵衛通りに 信号を

議員

市内にはゾーン30に指定された地域が数か所あるが、今後新たな指定は難しい。また立体的な3D効果の路面標示について県内では実現が難しいと聞く。そこで、関戸通りから久兵衛通りの信

号設置について伺う。この通りは道幅も狭く曲がりくねった道路であり、一部はコミュニティバスの路線でもある。また県道松戸草加線などには信号が何か所もあるが、並行して走るこの道には信号機がなく制限速度以上にスピードを出す車が多いと感じる。信号機の設置を要望する声も多い。この関戸通り・久兵衛通りの今後の安全対策をどう考えるのか。

環境安全部長

信号機の設置管理者である吉川警察署に確認したところ、交差点形状等が設置基準に満たないため、現時点での設置は困難であるとのことである。市としては、スピードを抑制するために、運転者に注意喚起を促す道路区画線の設置等を検討し、交通安全対策に努めていく。

その他の質問

オリンピック誘致活動など。

オリンピック誘致

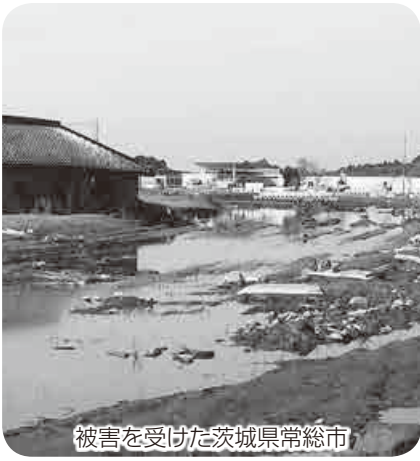


関戸通り
(寄巻橋西バス停付近)

本市の河川災害における 避難対策は

議員 未曾有の大災害となった常総市の鬼怒川決壊から3か月が経った。今回の関東・東北豪雨災害の対応を十分に分析し検証することは、三郷市における河川災害対策に活かせるものと考えられる。また、命を守るために地域住民・行政はどう備え、何をすべきか考えていかなければならない。そこで、本市の河川災害対策について伺う。

環境安全部長 避難勧告と避難指示については、基準水位観測所の水位及び堤防被害等を監視するとともに、地方気象台や河川事務所などと情報交換を行い、避難情報



被害を受けた茨城県常総市

の発令時期と区域を判断する。そのうえで防災行政無線、広報車、緊急速報エリアメール、三郷市公式サイト、ツイッターなどで市民へ周知する。さらに、自主防災組織連絡協議会会長に対して、協力依頼及び連絡調整を依頼する。また、草加市・越谷市・八潮市・吉川市・松伏町・葛飾区と災害時の協力協定を締結している。食糧品・生活物資等の救援物資の提供、救援活動及び災害復興のための職員の派遣、被災住民の受入れ等が協定内容となる。

マイナンバーの現状は

議員 マイナンバーは平成27年12月までに通知カードが送付され、1月から運用開始になるが、多くの市民から分かりにくいなどと質問が出されている。①マイナンバー通知カードの配付状況。②住所不明などの状況と対策は。③印字ミスの原因と対策。④税・福祉関係等でのマイナンバーの記載拒否の場合はどうするのか。担当職員への対応について伺う。

市民生活部長

①11月29日までに

初回の配達はすべてが終了した。②あて所不明で配達できなかった通知カードは1085通である。不在等で未配達のお知らせは市民課の窓口で本人確認をしながら交付している。③委託業者による電子データの初期入力誤りがあり、文字化けしたものである。詐欺犯罪防止のため、おわびと注意喚起文書を全世帯に送付した。

企画総務部長

④市の手続きでは、マイナンバー法の規定により職員がマイナンバーを補記することができない。民間事業者の場合は記載拒否までの経過等を記録・保存するなどの対応を行うことになる。

その他の質問 総合計画問題など。

みさと団地分譲地区の 持続可能なまちづくりを

議員 築後40年以上経つみさと団地は、約7千世帯の賃貸と約2千世帯の分譲からなる大規模団地である。全国的に老朽化した団地の建て替え問題があるなか、みさと団地分譲地区も同様の問題が出てくると思われる。今後、高齢化が



みさと団地

進み、管理組合の活動が低下する恐れもあり、みさと団地分譲地区の大きな問題を管理組合だけに委ねるのは困難と言わざるを得ない。早稲田団地やさつき平も今後同様の問題が予想され、本市が持続可能なまちとして存在していくためにも、さまざまな角度から行政が管理組合や住民と連携し、分譲団地再生に向け、取り組みを進めていくべきではないか。

市長 みさと団地全体の再生について、まちづくりの視点から関係機関等と連携を図りながら、検討をしていく。

企画総務部長 みさと団地居住者の居住の安定及びコミュニティの維持を念頭におき、必要な支援の手法等を調査・研究していく。

その他の質問

環境問題など。

情報ツールとして 「コミュニティFM局」の 開設を

議員 阪神・淡路大震災、新潟県中越地震等を契機に局数が増加し、現在47都道府県に295局が運営されている「コミュニティFM局」。災害発生時に正確な情報収集伝達機関として迅速に対応できるため、自治体と災害対策基本法に基づく災害放送協定を締結している局が多い。自治体が緊急情報を直接放送でき、地域防災においては理想のツールだと思われる。現在活用している防災無線の不具合等も解消される。また、行政・観光・交通情報や産業振興、



公共施設内にあるコミュニティFM局
(秋田県横手市)

シテイセールスをはじめとする地域情報を提供する地元密着型メディアとしても大変有効ではないか。

市長 近隣市町や埼玉県内の情報等を踏まえ、危機管理や地域コミュニティ促進の視点からの活用方策について研究を進めていく。

企画総務部長 身近な人やなじみのある場所が登場することにより、聴き手に届く情報の伝達量は非常に大きいものと認識している。

産業振興部長 ライブ性の高いコンテンツによる情報伝達が可能となり、三郷の商工業、観光情報発信ツールとして活用することができると考える。

その他の質問 市政運営。

第4期三郷市障がい福祉 計画の策定状況は

議員 市は福祉計画策定のために、障がい者福祉に関する実態調査を実施しているが、市のサービス情報の充足度で「あまり、まったく、どちらともいえない」を合わせた6割の人が情報不足と感じているとの結果である。①利用

促進の一助として、福祉制度の事業について、幅広い情報をわかりやすくまとめた、ガイドブックの作成について伺う。②通園通学については、25%のかたが「通うのが大変」と困っているが、課題への対応や支援の計画について伺う。③障がい者の相談や情報提供の拡充と強化が必要とされているなか、計画にも相談支援事業は2か所の目標値とあるが、今後の増設について伺う。

福祉部長 ①市としても必要性を認識しており、今年度中の完成を目指して現在ガイドブックを作成中である。②三郷市障がい者計画では「障がい児の支援体制づくり」を基本目標のひとつとしており、計画を推進すべく関係各課と連携を密にしている。③相談支援体制の充実に向けて情報収集等に努め、他の施策との整合性などを図りつつ研究を進めていく。

その他の質問 生涯学習。

マイナンバー通知カード 発送時の確認体制は

議員 運用に先立ちマイナンバーの通知カードが郵送された。その

際、封筒の宛名台紙の差出人のところ「三郷市役所？市民課」と印字されていた。印字ミスを確認する体制は取れなかったのか。また、その後の市民へのおわびなどの通知にかかった経費は市の財源から支出したのか。

市民生活部長 国の関係機関から郵便局にマイナンバー通知カードが発送される前に、市町村が確認する体制は全国的に取られておらず、三郷市が郵便物を確認する機会がなかった。今後はあらかじめミスを想定したうえで、慎重に職務を遂行していく。今回のミスは、市が情報処理を委託している業者によるデータ入力への誤りが原因であり、おわびと注意喚起の文書の通知費用は、その委託業者が全額負担したため、市の予算は使っていない。

その他の質問 庁舎内設備について。



三郷市版人口ビジョンの構築は

議員 市の人口は11月1日現在、

13万7452人である。三郷市版人口ビジョン（案）の中で、総人口のピークは、2024年（平成36年）の14万3307人と推計しているが、これは少なすぎないか。中核市を目指すべく、人口要件である20万人を目標に戦略を立ててもよいのではないか。市全体の51・2%にあたる市街化調整区域を区画整理事業により土地利用の選択肢が多い準工業地域として広域に指定。企業誘致を積極的に行い、雇用の創出、移住促進や定住対策の充実など地域経済の活性化と出産・子育ての支援を同時並



企業誘致を積極的に行い人口増加を

行で行う職住近接により人口ビジョンの構築が大事であると考えらるがどうか。

企画総務部長

市町村が効率的な行政を行うことができる人口規模は10万人台とされる。まずは総合戦略により一定の人口規模を確保していく。三郷市版人口ビジョン（案）で示した人口の現状や将来の展望を踏まえ、本市の実情に即した具体的な方策を三郷市版総合戦略で定める。

その他の質問

環境問題など。

認知症初期集中支援

チームの早期設置を

議員

認知症初期集中支援チーム

は専門医や保健師、看護師、看護福祉士等で構成されている。認知症が疑われるかたや家族から連絡を受けて訪問し、生活の様子や詳しい症状の聞き取りや相談、必要な医療機関での診断や介護サービスにつなげる役割を担う。これまでも認知症対策は専門職がいかにか早く、当事者や家族に支援の介入が図れるかが重要で具体化の早期実施を要望してきた。また最近では、早期介入で認知症の悪化を防

ぎ、改善した例もあると科学的にも明らかにされている。政府は2018年度までに自治体に支援チームを設置する方針を打ち出しているが、日本一高齢化が進む三郷市において、早期に設置する必要があるのでないか。

福祉部長

早期に支援チームの研修及びチーム会議を開催し、平成28年1月からモデル地区としてみさと団地を対象に活動していく予定である。

その他の質問

子どもの貧困問題など。

中小規模事業者の

振興策を

議員

時代の波に乗らなくては生

き残れないのが今の個店である。商人の手本である大商人に、納税額日本一を続けた斎藤一人氏がいる。その著書の中に「お店の貼り紙一枚を見ればそのお店はわかる。お金を一銭もかけずにどうすればお客様に店に来てもらえるか。商人としての才覚があつて初めて広告宣伝がいきる」との記述がある。個々人の商才を磨く施策を打ってみてはどうか。



経営ノウハウを学ぶ創業塾

産業振興部長

今年度から新製品開発などを行った工業事業者に対し補助率2分の1、上限1000万円の補助を行っている。また、商店会への各種補助制度や「がんばろう！ 企業応援事業補助制度」も多くの商工業者に利用いただいている。さらに商工会と連携して「創業塾」の開催や、実際に市内で起業しようとするかたに対して「きらりとひかれ！ 起業家応援事業補助」を行っている。今後も市内中小事業者の持続的な発展及び地域経済の活性化のために、引き続き各種施策を展開していく。

その他の質問

都市計画マスタープランについてなど。

埼玉県学力・学習状況調査の結果は

議員 4月16日に実施された埼玉県学力・学習状況調査について、小学校は県平均を上回っているが、中学校は全教科、国語・数学・英語が県平均以下という結果になっている。小中学校の間でも格差があるようだが、この結果についてどう評価しているのか。また、「日本一の読書のまち」を指して9年になるが、調査結果のなかで国語力についてはどう考えているのか。

市長 今回、中学校の学力は県平均より若干低い結果であるが、調査が始まった平成19年度から学力は着実に向上しており、「学力向上推進5カ年計画」の取り組みが徐々に成果をあげているととらえている。

教育長 小学校は国語、算数ともにすべての学年で県平均を上回り、中学校では下回っている。市内学校間の平均正答率の差については、どの学校にも分け隔てなく教職員を配置しているが、様々な要因から結果として差が出てきている。また、授業以外の読書時間が長い児童生徒の正答率は高くなる傾向があり、読書の取り組みが学力向上に良い影響を与えているのではないかと認識している。



◆議会の詳細は「会議録」で

三郷市議会ホームページまたは、市役所の市政情報コーナー、図書館などで「会議録」を閲覧することができます。なお12月定例会の会議録は2月下旬に更新する予定です。

▶会議録速報版を公開…閉会から1か月を目安に、ホームページにてPDF形式で公開していますので、ご覧ください。

三郷市議会 会議録

検索

その他の質問 公共建築等の設計のあり方についてなど。

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

議会傍聴は、議会活動に触れる最も身近な方法です。

本会議や委員会では、市民の皆様の生活に直接関わる重要な問題について、活発な議論が交わされますので、市政への理解を深めていただくためにも、市議会の傍聴を試みませんか。

傍聴日時：議会は3月・6月・9月・12月に開催されます。

※詳しい日程は議会事務局にご確認ください。

傍聴場所：市役所の7階に傍聴席入口があります。
(委員会開催日は6階)

本会議の当日、傍聴人受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで自由に傍聴ができますが、次のことを守っていただきます。

- (1) 騒ぎ立てたり、拍手をするなど、議場への迷惑となるような行為をしないでください。
- (2) みだりに立ち上がるなど、威圧的な行為をしないでください。
- (3) 携帯電話・カメラ・録音機等は使用できません。
- (4) 飲食又は喫煙をしないでください。
- (5) その他、議場の秩序を乱し、又は会議の妨害となるような行為をしないでください。

※傍聴されるかたは、すべて議長、又は係員の指示に従ってください。



傍聴席60席 (うち車椅子席3席)

【平成28年3月定例会の日程表】

※正式には、市長の招集告示を受け、議会運営委員会を経て、開会日の本会議で決定します。

月 日	曜日	会議別
3月1日	火	本会議
3月2日	水	
3月7日	月	
3月8日	火	委員会
3月9日	水	
3月10日	木	本会議
3月16日	水	本会議 (一般質問など)
3月17日	木	
3月18日	金	
3月22日	火	
3月23日	水	

次回の定例会は3月に開かれます。10時から開会となります。

12月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

○ = 賛成 × = 反対 (会派内で賛否が分かれた場合は数字を付記)

号	件名	結果	21世紀	政志会	公明党	共産党	市民派	無所属
74	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○
75	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○
76	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○
77	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○
78	三郷市個人番号の利用に関する条例	可決	○	○	○	×	○	○
議案	79 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び公社等に派遣される職員の災害補償に係る処遇の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	80 三郷市税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○
	81 三郷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○
	82 三郷市文化会館設置及び管理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	83 三郷市介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○
	84 平成27年度三郷市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○
	85 平成27年度三郷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○
	86 平成27年度三郷市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○
87 平成27年度三郷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	
請願	2 三郷の子供たちの健康調査と検診助成を求める請願書	不採択	×	×	×	○	○	○

※このほか報告5件が提出されました。

◆三郷市議会議員の会派と所属(20名)

会派名(人数)	所属議員名
21世紀クラブ(6)	市川 文雄(議長)、菊名 裕、岡庭 明、野村 徹、逢澤 圭一郎、加藤 英泉
政志会(3)	篠田 進、佐藤 裕之、佐々木 修
公明党(5)	酒巻 宗一、中野 照夫、鈴木 深太郎、佐藤 睦郎、鳴海 和美
日本共産党(3)	稲葉 春男、工藤 智加子、和田 司
市民派クラブ(2)	篠田 正巳、村上 香代子
無所属(1)	森 忠行



※議長は採決に加わっていません。

議員研修会を開催しました

○11月25日、三郷市議会議員研修会として、(株)マルエツフレッシュフーズ三郷事業所(インター南1丁目)及び、サイバーダイナスタジオ(茨城県つくば市)を視察しました。



サイバーダイナスタジオを視察

市民の声 議会へ

市民要望としての請願が12月定例会に1件提出されました。要旨と結果をお知らせします。

請願第2号 三郷の子供たちの健康調査と検診助成を求める請願書

請願者 放射線から子どもたちを守る三郷連絡会
会長 大場 敏明 氏

請願事項

- 1 三郷市在住の子どもたちへの健康影響を調査し、そのデータを長期保管すること。
- 2 当面、甲状腺エコー検診など放射線の健康被害を心配して各種検査を受ける市民に助成金を給付すること。

審議結果 不採択

議案第78号 三郷市個人番号の利用に関する条例

議案第84号 平成27年度三郷市一般会計補正予算(第3号)による主な事業

▷本会議や委員会では次のような質疑がありました。

◆マイナンバーの利用規定を定める条例
(第78号)

〔内容〕 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(マイナンバー法)の規定に基づき、個人番号の利用に関し、適正な取り扱いを確保するために必要な事項を定めるもの。

問 マイナンバー法第9条第2項の「条例で定める事務」とは。

答 1つは市の独自利用とするもので、本市において現段階では規定していない。もう1つは法及び条例で規定された範囲内で庁内各課において情報連携するものであり、この内容を今回条例に盛り込んでいる。

問 個人番号カードを作成しないと行政手続き等で支障はあるのか。

答 当面の間、初回カード作成時に費用はかからないが、作成は任意である。用件によっては番号自体の確認と本人確認が合わせて必要な場合があり、その際個人番号カードだけで両方が確認できる。カードがなければ通知カードと本人確認書類等が必要になる。

問 マイナンバーのついた個人情報について情報処理等を行った記録は残るのか。

答 システム操作した記録は管理している。今後情報提供等記録開示システム(マイナポータル)で自分の個人情報をいつだれに情報提供したのかを確認する機能が整備される予定である。

◆地域介護・福祉空間整備事業(第84号)

〔内容〕 国の補助金を活用して、戸ヶ崎3丁目地先に健康遊具の設置を行うもの。

問 遊具の設置場所を詳細に。

答 二郷半用水と下第二大場川の合流地点付近の二郷半用水緑道内に予定している。

問 日よけの設置の予定はあるのか。

答 今回は健康遊具と使用方法などの案内板の設置であり、日よけについては予定していない。ただし健康遊具の設置は二郷半用水緑道のICウオークのコース内であり、近くには木陰もある。また、健康増進だけでなく、地域内のコミュニケーションを深められる空間を創出していきたい。



健康遊具の利用説明会(早稲田公園)

▶最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告し、採決の結果、議案第78号は賛成多数で、第84号は全員賛成で可決しました。

議会あれこれ

陳情を受理

○12月定例会では、陳情7件を受理しました。

視察研修を行いました

○公明党・市民派クラブ：11月18日・19日に福島県福島市で開催された第10回全国市議会議長会研究フォーラムに参加しました。

特別委員会を開催

○11月17日、三郷インターチェンジ周辺対策特別委員会を開催しました。

全員協議会を開催

○12月17日に、「三郷市版総合戦略(検討案)」について協議しました。

他市からの行政視察がありました

○「三郷中央駅周辺、新三郷駅周辺のまちづくり」についてなど：11月5日に茨城県つくば市議会道路路交通体系及びTX沿線整備調査特別委員会。

○「危機管理と防災組織」について：11月10日に宮城県東松島市議会総務常任委員会。

○「三郷中央えきちか子育て・保育事業」について：11月19日に岐阜県多治見市議会リベラルたじみ。



子育て支援センターにここを視察

わたしも ひとこと

読者の 声

大雪に注意？

会社員 20代 さつき平在住

今年は暖冬になるという。浅学な私などは、「暖かくて過ごしやすいかな」などと暢気に構えてしまうのだが、聞けば関東ではむしろ雪が多くなる傾向があるようだ。

雪といえば、一昨年こぞの冬を思い出す。低気圧の影響で、三郷でも例年にならぬほどの大雪が降った。交通は麻痺してしまい、車は普段意識もしないような坂を上りきれず立ち往生していた。また、草加流山線沿いの店で徒歩の男性に北越谷駅までの道を尋ねられたのが印象に残っている。

今年はどうなるか。いずれにせよ備えはしておきたい。

「ありがとう」と「恩返し」

無職 70代 鷹野在住

日ごとに寒さが厳しくなってきました。朝の通学時、子ども達の大きな声で「おはようございます」の挨拶に元気を貰っています。こんな爺に元気をありがとう。子ども達には、努力の後の「達成感の喜び」をたくさん味わってほしいと願っています。

小生は戦後の食糧難など厳しい時代を経て多少の耐える力を養え、今は趣味などを含め幸せと感じています。それには今日まで、多くの方々からたくさんの「助け・応援」があったものと感じています。今後はその「御恩返し」のつもりで、少しでも「社会貢献」ができたらと思っています。その為にも「元気が大事」と「ありがとう・感謝」の心を常を持ちながら過ごしたいと考えています。



新春の木遣り・はしご乗り (市役所本庁舎)

本年もよろしくお願いたします

議長
副議長
議員

岡庭	篠田	酒卷	中野	工藤	菊名	野村	佐藤	鳴海	稲葉	和田	逢澤	加藤	佐々木	佐藤	村上	篠田	森	鈴木	市川
明	進	宗一	照夫	智加子	裕	徹	睦郎	和美	春男	司	圭一郎	英泉	修	裕之	香代子	正巳	忠行	深太郎	文雄

(議席順)

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候の挨拶状などは禁止されております。市民の皆様に対して、本紙上をもって年頭のご挨拶とさせていただきます。

みさと市議会だより (第164号)
発行 三郷市議会
編集 議会だより編集委員会
〒341-8501
埼玉県三郷市花和田648-1
TEL 048-9300-7768
FAX 048-953-1358 (直通)
URL <http://www.city.misato.lg.jp>

